

【取組内容①】 「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実

校内授業研究会テーマ：「教科の楽しさやよさを実感して、粘り強く考える生徒の育成」

個別最適な学びと協働的な学びを充実させる端末活用について、校内授業研究会を通して先生方が意見を交わした。生徒自身が端末に記録した振り返りを活用する取組や、生徒が主体となって進める学習形態を積極的に取り入れた。

技名	難度	確認する技能	チェック	評価
前転	A	手で体を支えている 頭がマットについていない 手をマットに触れずに立ち上がる	0 0 0	◎
開脚前転	B	手で体を支えている 足が伸びている スムーズな回転ができています	0 0 0	◎
伸脚前転	D	膝が伸びている 膝が伸びのまま立ち上がる 立ち上がる時に、脚が動かない	0 0 0	△
後転	A	手で体を支えている 膝をつかない 脚を動かさない	0 0 0	◎
開脚後転	B	手で体を支えている 脚が伸びている スムーズな回転ができています	0 0 0	◎

**チェックの仕方**

- ・3回試技して、2回成功して、はじめて『できる』と認定してよい。
- ・『できていない』と判断するためには、3つのチェック項目が同時に『できる』となる。
- ※3回合わせてチェック項目ができて、『できていない』とはならない。
- ・安全にできていないと判断した場合は、試技を中止させること。
- ・できたらチェックを○にする。
- ・評価は、きれいでできていれば◎、できていたら○、なんとかできていたら△

授業でわかったこと気づいたことを下の枠に入力しよう

小学校の時よりも後転ができるようになっていました。  
理由はペアを組んでペアの人に横から見てもらえるので、  
「△評価の中」にまっすぐいって、カンを触らずに、



理科の授業では「高い音や低い音を出すためにはどうすればいいのかわかるか」、端末を使いながら一人でじっくりと考える生徒がいたり、端末で情報共有をしながら友達と一緒に考える生徒がいたりした。

研修では、これまで美術等で行われてきた学習形態は、複線型の授業モデルになるとのヒントを得た。



校内に掲示されていた生徒の美術作品

保健体育の授業では、マット運動で行った技の難易度や、ポイントとなる技能を生徒自身が確認したことで、自らの学習活動をより具体的に振り返る姿が見られた。

【先生方の学び】

「GIGA端末を使った授業は、先生主導ではなく、子どもが主役となって授業をしていくことが必要だと感じた。先生はあくまで補佐として役割としてサポートし、子どもたちが自由に表現できるようにしていくことが必要だと感じた。」（高橋純教授のご講演を聞いた感想より）

一斉授業の中での端末活用をイメージしていた先生方が、校内授業研究会でお互いの授業を見せ合いながら、個別最適な学びと協働的な学びを充実させる端末活用について意見を交わしていったことで、少しずつ生徒主体の端末活用、授業形態が行われるようになっていった。

## 【取組内容④】 「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

## 職員間での情報共有の効率化を図る取組

GIGA端末導入時から職員室等で職員同士が直接情報共有を行うことができていたため、チャットの必要性が職員間であまり高まらなかった。しかし、便利さを実感した後は、チャットを活用した情報共有が積極的に行われた。

## 令和4年度までの職員間の情報共有について

## 【令和4年度 先生方への聞き取りから】

- ・最初は保守的な先生が多かったが、管理職の「失敗してもいいよ」という後押しがあったおかげで気楽に考えることができ、アイデアが次々と生まれるようになった。
- ・とにかくやってみる、分からなければ聞くということを繰り返してきた。
- ・直接聞いた方が早いため、あえて職員間で使い方研修やチャットでの共有はしていない。

## 令和5年度 教育委員会事務局とチャットで情報共有を開始

まずは、校内のGIGA推進担当者がチャットの便利さを実感

← 南河原中\_GIGA連絡用  
8人のメンバー・制限付き

チャット ファイル タスク

お世話になっております。新田です。リーディングDXスクール事務局から、メルマガの掲載依頼があり、次のような文面を考えております。以前に南河原小学校から「12月19日に研究報告会を行うため、PRしてほしい」と依頼があったため、このメルマガにも記載しております。南河原中学校さんのほうでもPRしたいことがあれば、ぜひ、お知らせください（期間が短く申し訳ございませんが、明日までにお知らせ頂けると幸いです）。特になければ、このような文面で掲載されることをご承知おきいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

## 職員会議でチャットの使い方を研修

7月の職員会議でチャットの使い方を先生どうして研修

チャットの便利さを実感した校内のGIGA推進担当者が、職員に使い方の研修を行い、その便利さを共有した。

## チャットを活用した職員間での情報共有の例

GIGAスクール構想推進LETTER

GIGAスクール構想推進 LETTER

研修後にはチャットで資料を共有したり、情報共有を行うようになり、打合わせ時間の短縮や急な予定の変更にも、円滑に対応できるようになった。

26日(木) 昼休み@PC室 文化祭実行委員会(最終回)を行います。実行委員は振り返りの入力を終えて会に参加するようお伝え下さい。

(再掲) 本日は。できる限り早めに開始し、一番下に移動 三徒は変わっていただけると大変助かります。よろしくお願いします。

これまでも、職員室等では職員同士の情報交換がよく行われていた。しかし、今年度に入って校内のGIGA推進担当者がチャットの良さを実感したことをきっかけに、業務でのチャット活用が職員間で広まり、打ち合わせの前に資料共有が行われるなど、情報共有がより効率化した。

## 【取組内容⑤】 「研修の指導講評をオンラインで公開し地域内外に普及」

東京学芸大学 高橋純 教授にご指導していただいた様子を、市立学校内にオンライン配信で公開

高橋純先生の指導助言を通して、市内の先生方が広く、複線型の授業やGIGA端末の効果的な活用事例について学んだ。

	日付	研究授業等	テーマ
1	4/10	研修のみ	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる端末活用とは？
2	6/7※	全学年	一人一人の子どもが主語となる端末活用 子どもの頭がフル回転する授業とは？
3	6/12	数学	子どもの活動をもとに、教科の枠を越えて先生方全員で端末活用について考える
4	7/5	保体・理科	研究授業を通して、個別最適な学びと協働的な学びの実践について振り返る
5	9/13※	社会・英語	一人一人の子どもが主語となる端末活用 端末を活用した振り返りの記入について
6	11/15	国語・技術	研究授業を通して、個別最適な学びと協働的な学びの実践について振り返る
7	3/21	研修のみ	今年度の取組を振り返る

※校内授業研究会の内、6/7と9/13で、東京学芸大学 高橋純 教授をお招きしてご指導をいただいた。  
高橋純教授のご講演の様子は、視聴を希望する市内市立学校にオンラインで配信した。

南河原中学校の授業研究会で、高橋純先生にご講演していただいた様子を市立学校内に配信し、複線型の授業やGIGA端末の効果的な活用事例について、多くの先生方が学びました。